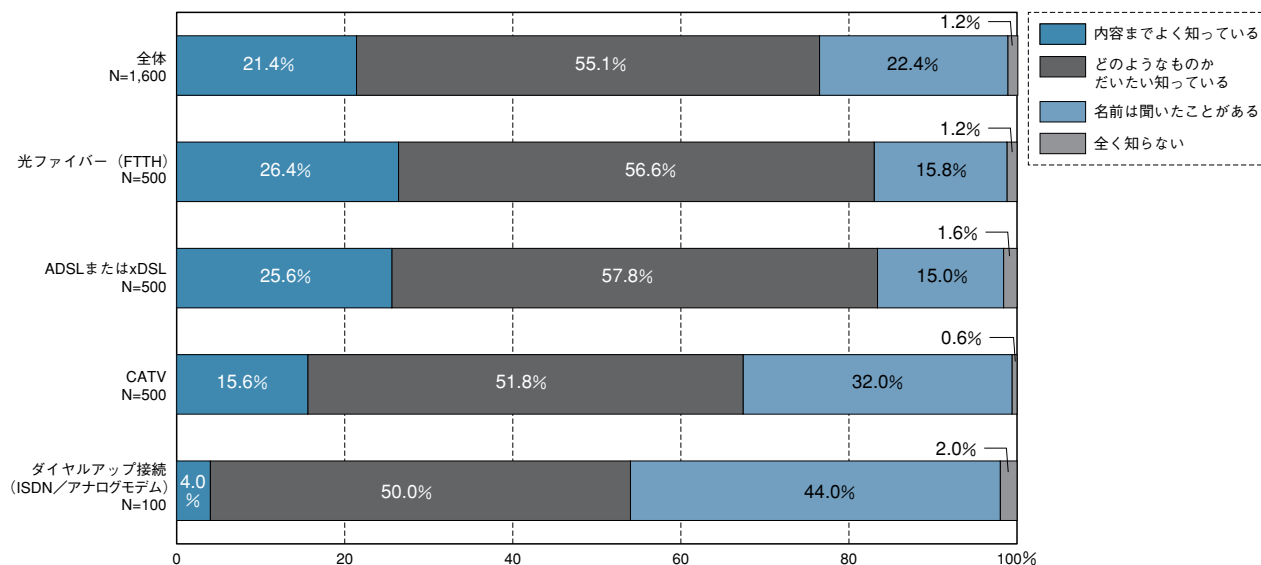


IP電話

認知されつつあるIP電話の概要

資料2-2-14 IP電話の認知 [全体と接続回線別]

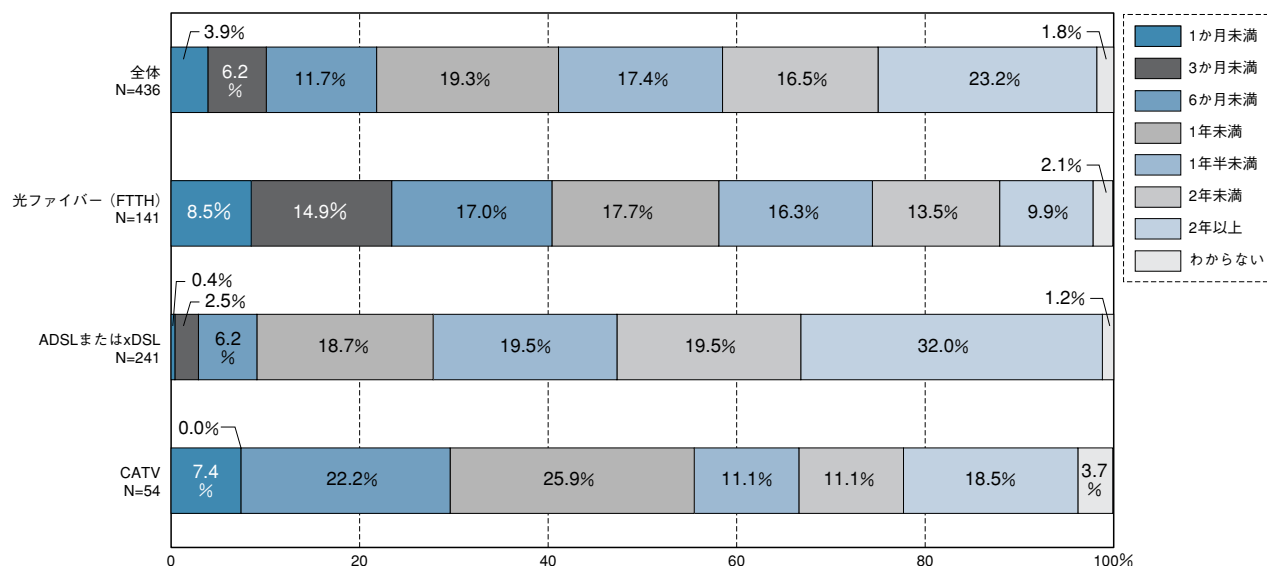


IP電話の認知率は、「内容までよく知っている」と回答した人が21.4%、「どのようなものかだいたい知っている」は55.1%、合計76.5%で概ねその内容まで認知されているといえる。接続回線別にみると、光ファイバー利用者とADSL利用者はほぼ同じで、CATV利用者の認知率は下がり、ダイヤルアップ利用者はさらに低く、「名前は聞いたことがある」が44.0%を占めている。

©impress,2005

IP電話契約者の利用歴は過半数が1年半以上

資料2-2-15 IP電話の利用歴 [全体と接続回線別]



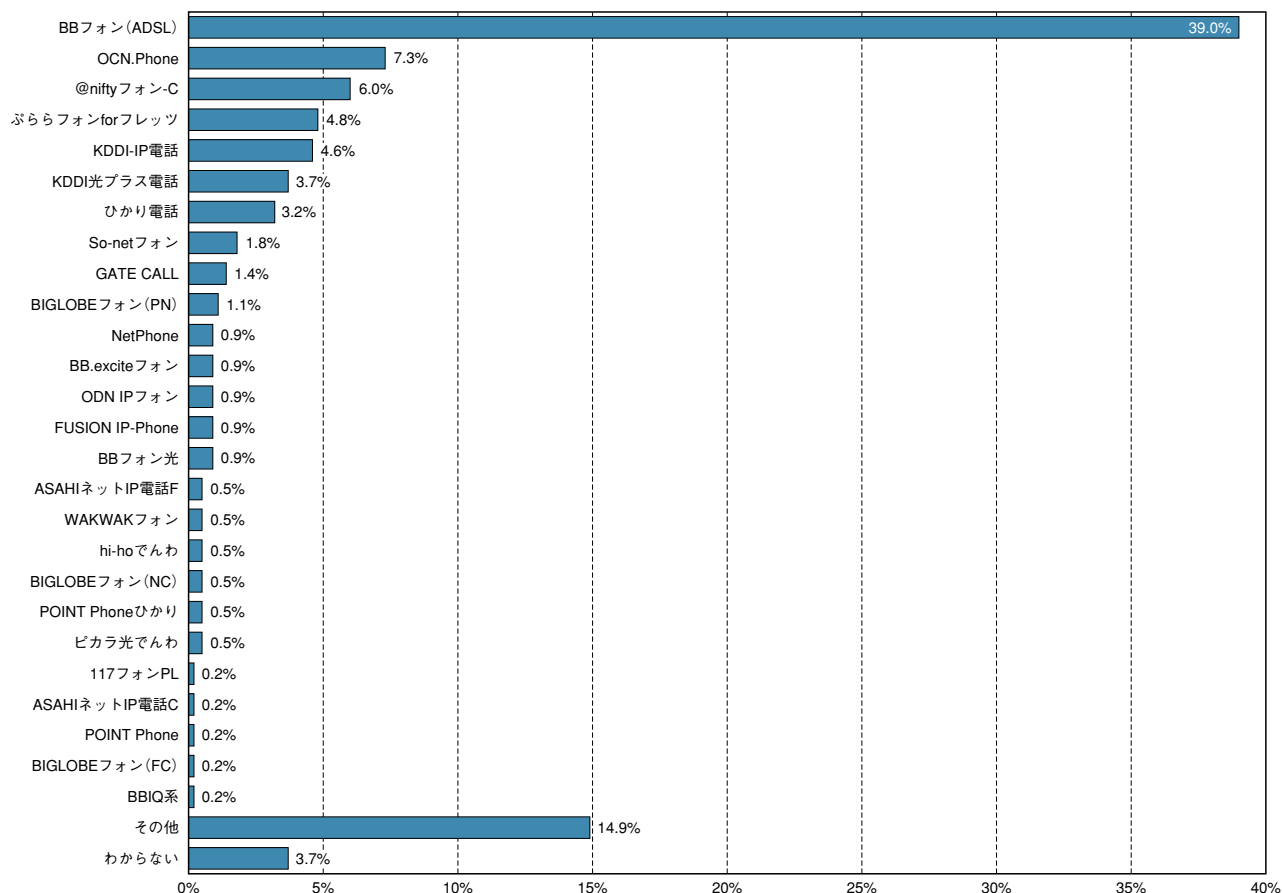
IP電話契約者の利用歴は、「2年以上」が23.2%で最多、1年半以上合計で過半数の57.1%を占める。ADSL/xDSL利用者は、Yahoo! BB契約者が4割、また回線利用歴が2年以上のユーザーが過半数を占めているため、「2年以上」と回答した人が32.0%と高く、IP電話利用歴も長い。逆にCATV利用者は1年未満計が過半数の55.5%を占め、利用歴は短い。

©impress,2005

IP電話

IP電話サービス1位は「BBフォン」で39.0%

資料2-2-16 現在利用しているIP電話サービス会社 N=436



IP電話利用者が利用しているIP電話サービス会社のトップは、ADSL/xDSL利用者が最もISP利用率の高かったYahoo!の「BBフォン」の39.0%。「BBフォン」はADSL/xDSL利用者に限定すると69.3%に達している。光ファイバー利用者においてIP電話会社トップ3の@nifty、KDDI、ぶららが上位にランクされている。

©impress,2005

約6割がIP電話導入にメリットを感じるも前年よりは減少傾向に

資料2-2-17 IP電話利用者の導入メリット（評価）[全体と接続回線別]



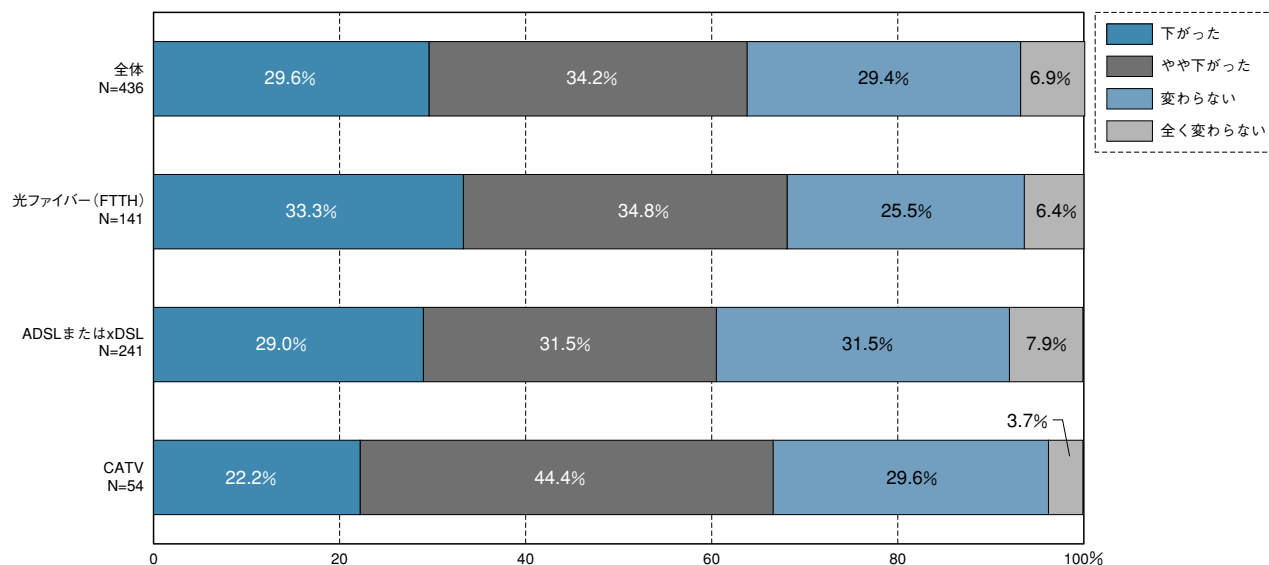
IP電話利用者に導入のメリットを感じるか聞いたところ、「感じる」が33.7%、「やや感じる」が29.6%で、63.3%がメリットを感じているが、前年に比べ14ポイント減少という結果であった。接続回線別でも大きな差は認められない。携帯電話での通話が増え、固定電話の利用機会が以前ほど多くないことが一因と考えられる。

©impress,2005

IP電話

IP電話導入でコストが下がったと感じている利用者は約6割

資料2-2-18 IP電話導入後のコストの変化状況 [全体と接続回線別]

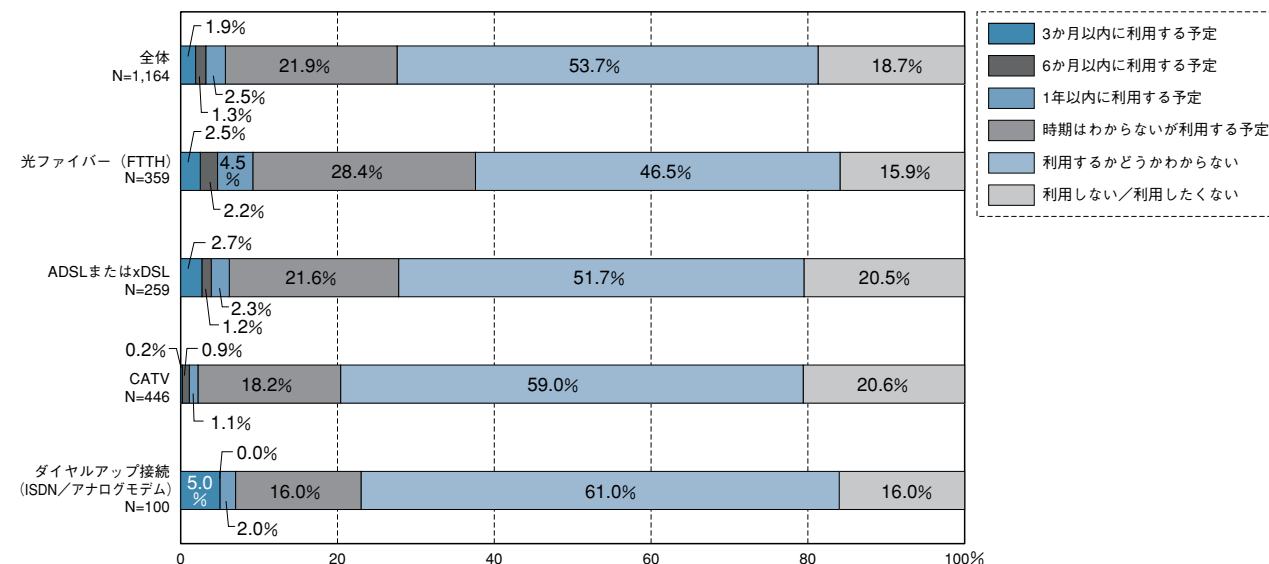


IP電話利用者に導入後に通信コストが下がったか聞いたところ、「下がった」と回答した人は29.6%、「やや下がった」は34.2%で、合計63.8%の人がコストが下がったと感じている。この結果はIP電話導入のメリットに対する評価と類似しており、IP電話の評価はそのままコストメリットの評価であることを物語っている。

©impress,2005

IP電話利用意向者は減少気味、約7割が消極的態度

資料2-2-19 非利用者のIP電話の利用意向 [全体と接続回線別]



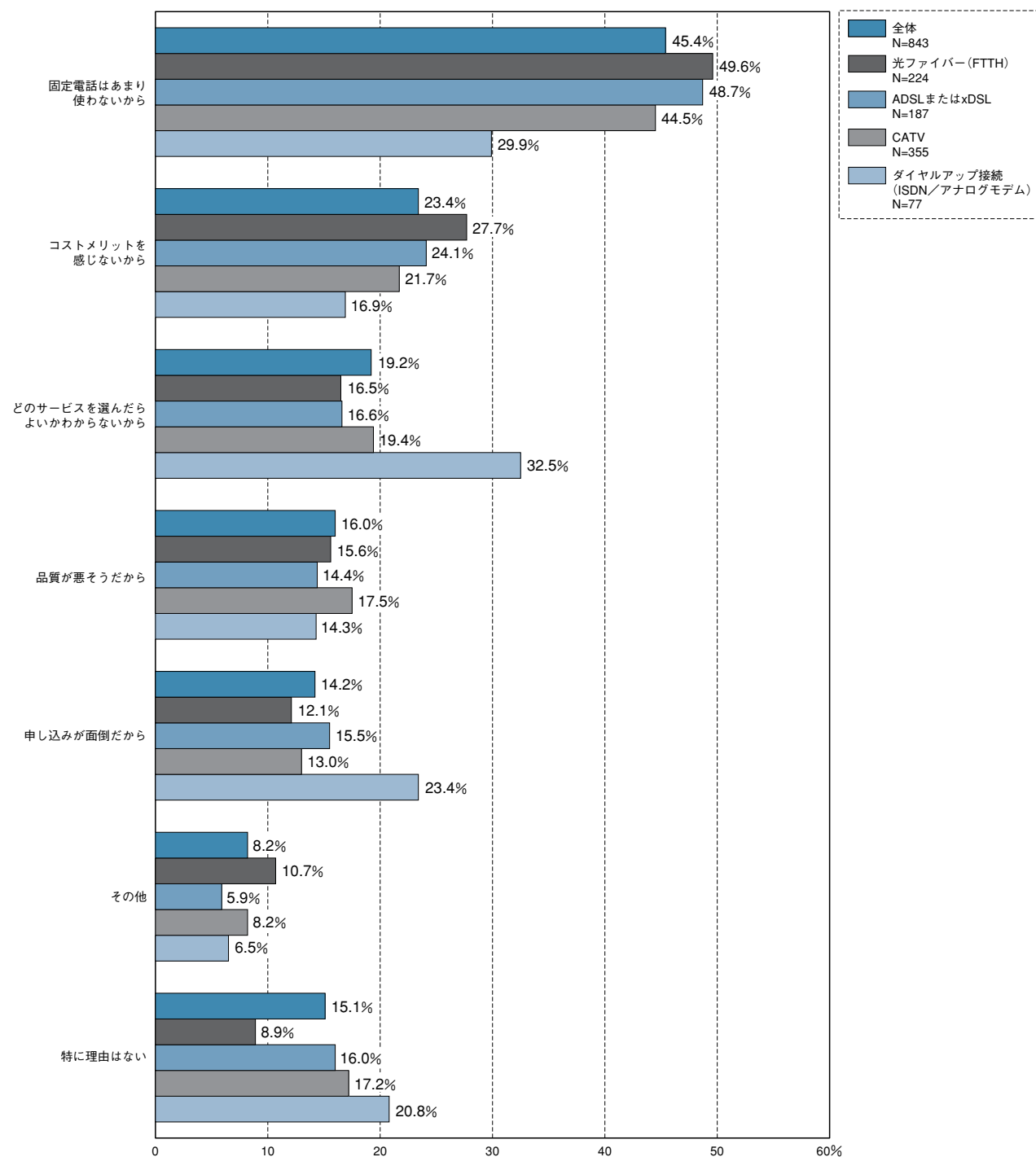
IP電話非利用者の利用意向は、「利用するかどうかわからない」が53.7%で最も多く、「利用しない/利用したくない」の18.7%と合わせた約7割の人が利用に対して消極的という結果であった。利用意向を持つ人は27.6%で昨年よりもさらに4ポイント減少しており、IP電話の導入に対して前向きに検討する人の減少傾向が続いている。

©impress,2005

IP電話

携帯電話での通話機会増加がIP電話の非利用意向に影響

資料2-2-20 IP電話の非利用理由〔全体と接続回線別〕



IP電話の非利用意向者にその理由を聞いたところ、「固定電話をあまり使わないから」が半数近くの45.4%で最多。携帯電話での通話機会の増加にともなう固定電話の利用機会の減少が、IP電話の非利用意向という形になって表れる結果となった。また、ダイヤルアップ接続利用者は「どのサービスを選んでいいかわからないから」や「申し込みが面倒だから」などの理由も高く、新しいサービスに対する知識や意識の低さがうかがえる。

©impress,2005



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp